

障がい者ライフサポートプラン2015重点事業（14事業）の後期総括について

◎：進んでいる ○：予定どおり ▲：遅れている

重点事業（上段：事業名／下段：事業内容）		令和2年度の実績	【進捗評価】			（1）後期（H30～R2）総括 （2）今後の方向性 など
			H30	R1	R2	
1	【最重点】 居住の場の確保支援	（1）重症心身障がい者グループホーム受入促進事業 ・支援員の確保及び医療的ケアのフォロー体制確保のために補助金を交付する。 <補助実績> ・2事業所3住居のグループホームに対して補助金を交付 （2）強度行動障がい者支援検討会の開催 ・令和3年度から実施予定の支援策（法定研修及び支援チーム）を検討	○	○	○	【後期（3年間）総括】 ・補助事業を新設し、重症心身障がい者等のグループホーム利用のための支援員の確保ができた 【今後の方向性】（第5次障がい者LSP踏まえ） ・重症心身障がい者グループホーム受入れ促進補助事業の継続 ・強度行動障がい者支援に関しては、法定研修の実施及び個別事案に対しても細やかに対応できる支援チームを結成し、施策を充実させていく方向である
	重症心身障がい者、医療的ケアが必要な方、強度行動障がい者等の居住の場を確保するための支援策を実施します。					
2	【最重点】 共生型サービスの創出支援	<共生型サービス事業所の新規指定実績> ・R2年度新たに2事業所を指定 【指定事業所一覧】 ・まほろば ・スマイリングスピナティアー ・くらがいけ ・Carmia（カルミア） ・あさがお ・笑いの家 ・すばる	○	○	○	【後期（3年間）総括】 ・先進自治体への視察や民間事業者との勉強会を実施することで情報収集に努め、事業者を対象とした研修会で事業者指定に向けた支援等を行ったことで、3年間で7件の事業所が指定された 【今後の方向性】（第5次障がい者LSP踏まえ） ・共生型サービス事業所の増加に向けて、介護保険サービス事業所に対し、啓発と指定に関する相談支援を行う
	共生型サービスに関する理解向上とサービス創出に向けた相談体制を構築します。また、共生型サービスを創出するための支援策を検討します。					
3	【最重点】 日中活動場所確保計画に沿った事業所整備支援	（1）豊田市障がい者日中活動場所確保計画 ・整備目標 令和2年度末 450人（必要定員数） ・整備実績 令和2年度末 557人（整備済定員数） （2）その他 ・県有地を活用した重症心身障がい対応の生活介護事業所「ライフケアセンターりすまいる」開設（定員30人） ・こども発達センターおひさま施設内に障がい者が働く喫茶「CafeMikke」開設	◎	◎	◎	【後期（3年間）総括】 ・整備支援施策や事業者における自発的な整備により、整備目標を上回る事業所整備を行うことができたが、重度障がい者の受入れ可能な施設については未だ少ないことが課題である 【今後の方向性】（第5次障がい者LSP踏まえ） ・重度障がい者の対応が可能な事業所の増加を目指し、事業所における専門人材の確保や育成にかかる取組を進める。また、医療機関との連携や人材育成も併せて進める
	特別支援学校卒業後の地域での受皿を確保するため、豊田市障がい者の日中活動場所確保計画に沿った障がい福祉サービス事業所の整備を支援します。また、（仮）南部1次救急診療所に併設する日中活動場所及び県営手呂住宅跡地を活用した日中活動場所の整備について、共生型社会システムを視野に入れながら進めます。					
4	【最重点】 介護者負担軽減策の実施	<重症心身障がい児・者等の家族介護者負担軽減事業> ※難病患者は含まず ・利用登録者数 28名 （1）医療型短期入所 ・受入病院：2病院 ・利用実績：9名（282日） （2）レスパイト事業※個室補助がないさくら病院含む ・受入病院：5病院 ・利用実績：20名（338日） （3）医療型短期入所利用時における日中活動場所への送迎 ・利用人数：4名 ・利用回数：148回	○	○	○	【後期（3年間）総括】 平成30年度から家族介護者負担軽減事業、令和元年度から医療型短期入所利用時における日中活動場所への送迎事業が始まり、いずれも利用人数、利用数ともに増加し、一定の成果を得た 【今後の方向性】（第5次障がい者LSP踏まえ） ・今後も、補助事業を継続的に実施する ・重症心身障がい者等の障がい特性や支援方法を伝える研修会を実施し、医療機関での医療型短期入所・レスパイト事業の受入れを促進する
	日常的にたん吸引や経管栄養などの医療的ケアが必要な重症心身障がい児・者を受け入れる場所を確保するため、病院の空きベッドを活用した医療型短期入所及びレスパイト事業を実施します。					

障がい者ライフサポートプラン2015重点事業（14事業）の後期総括について

◎：進んでいる ○：予定どおり ▲：遅れている

重点事業（上段：事業名／下段：事業内容）	令和2年度の実績	【進捗評価】			（1）後期（H30～R2）総括 （2）今後の方向性 など
		H30	R1	R2	
<p>5</p> <p>【最重点】 避難所模擬体験の実施</p> <p>障がい当事者参加のもと、HUG（Hinzayo Unei Game）の活用を視野に入れた避難所運営の模擬体験を実施し、避難所を運営していく上での課題を把握します。</p>	<p><避難所模擬体験の実施></p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から障がい当事者参加型の避難所模擬体験は未実施 ※自治区の防災訓練に自立支援協議会として参加し、車いす体験やコミュニケーション支援ボード活用訓練等を実施 日時：令和2年9月6日（日）午前8時45分～午前10時45分 場所：御船自治区 区民会館及びグラウンド 参加者：参加者約100名 	◎	◎	—	<p>【後期（3年間）総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度は新型コロナウイルスの影響を受けたものの、平成30年度、令和元年度については、避難所模擬体験を実施し一定の成果を得た <p>【今後の方向性】（第5次障がい者LSP踏まえ）</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後は、障がい当事者を対象とした特別な訓練を実施することよりも、地域の防災訓練において、障がい者への配慮も考慮した訓練の実施を検討していく方向である
<p>6</p> <p>【重点】 心のバリアフリーの推進</p> <p>障がいの有無にとらわれることなく、誰もが地域社会で共に暮らしていくことが日常となるよう、多様な主体と連携し、障がいへの理解を促進します。</p>	<p>（1）ビデオを使用した啓発講座実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 件数：4件 受講テーマ（身体：1 精神：1 知的：1 法律・制度：1） 受講者数：65人 受講団体の内訳（事業者：2 民生委員：2） <p>（2）サポートガイドの配布 配布数：172冊</p>	◎	◎	◎	<p>【後期（3年間）総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度は、新型コロナウイルスの影響で、実施件数及び受講者が、大幅に減少してしまった。平成30年度、令和元年度については、300人を超える受講者数であり、一定の成果を得た <p>【今後の方向性】（第5次障がい者LSP踏まえ）</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、講座を実施するとともに、特に民間事業者への啓発活動を実施することで、市全体で障がい福祉についての関心度の増加と、合理的配慮の推進を目指す
<p>7</p> <p>【重点】 相談支援体制の再整備</p> <p>障がい者や家族が身近な地域で相談できるとともに、相談支援専門員が関係機関と連携することで質の高い相談支援を実施します。</p>	<p>（1）受託条件の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> 障がい者相談支援事業の職員配置を見直し、手厚い相談体制を整えた <p>（2）主任相談支援専門員の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> 主任相談支援専門員が地域の相談支援専門員に対し、フォローアップ研修の実施や利用支援等の援助技術の向上を目的とした指導助言を行い、人材育成を行った 	○	○	○	<p>【後期（3年間）総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> 障がい者相談支援事業の職員配置を見直し、手厚い相談体制を整え、質の高い相談支援を提供できるようにした <p>【今後の方向性】（第5次障がい者LSP踏まえ）</p> <ul style="list-style-type: none"> 豊田市地域自立支援協議会のブロック会議・サポート連絡会等を活用して、関係機関との連携を強化し、複雑化・複合化した相談に対応できるようにする
<p>8</p> <p>【重点】 発達障がい者への支援</p> <p>発達障がい者からの相談に対応できる窓口の設置や、対人コミュニケーションなどの困りごとを解決するための支援者を養成するほか、発達障がいへの理解を促進します。</p>	<p>（1）発達障がい子育ておはなし会</p> <ul style="list-style-type: none"> 家族の悩み事に応じたテーマに分けて6回開催 参加者数：34人 参加者アンケート結果：大変満足38%、満足59% <p>（2）発達障がい支援者研修</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政職員や保育士等に対し、発達障がいに関する研修会を実施 事業所職員と顔の見える関係づくりの機会をつくり、日々の支援の中で連携できる体制を構築 	○	○	○	<p>【後期（3年間）総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> 発達障がい子育ておはなし会は令和2年から実施回数を増やし、実施した。また、参加者からのアンケート結果では、大変満足、満足と感じている参加者が多い結果となった 支援者研修についても、研修後のアンケート結果は満足度の高い結果となった <p>【今後の方向性】（第5次障がい者LSP踏まえ）</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き現事業を継続しつつ、関係機関との連携を強化し、事業のあり方を検討することで、より多くの発達障がい者及び家族などの支援を目指す

障がい者ライフサポートプラン2015重点事業（14事業）の後期総括について

◎：進んでいる ○：予定どおり ▲：遅れている

重点事業（上段：事業名／下段：事業内容）	令和2年度の実績	【進捗評価】			（1）後期（H30～R2）総括 （2）今後の方向性 など
		H30	R1	R2	
<p>9 【重点】地域生活支援拠点整備に向けた検討</p> <p>豊田市に適した地域生活支援拠点の在り方について検討し、備えるべき機能や障がい者等が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるような支援を切れ目なく提供できる仕組みを構築します。</p>	<p><地域生活支援拠点等の整備完了></p> <ul style="list-style-type: none"> 相談機能及び緊急時の受入れ先について決定 夜間・休日を含めた常時の連絡体制が必要な対象者を把握 	○	○	○	<p>【後期（3年間）総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> 豊田市地域自立支援協議会にて、地域生活支援拠点の整備に向けた検討を行い、令和2年度に相談機能及び受入れ先を決定し、豊田市における地域生活支援拠点の整備を行った <p>【今後の方向性】（第5次障がい者LSP踏まえ）</p> <ul style="list-style-type: none"> 豊田市地域自立支援協議会を中心に、各機能の効果検証を行い、地域生活支援拠点の各機能の充実を図っていく
<p>10 【重点】移動サービス体制の検討</p> <p>公共交通機関の利用が困難な障がい者に対する移動支援の在り方について検討します。</p>	<p><移送サービスの予約方法の改正（H30実施済み）></p> <ul style="list-style-type: none"> 移送サービスの予約方法を見直し、より多くの利用者が利用できるように制度改正を行った <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度延べ利用者数：1,423人 令和2年度送迎実施回数：1,008回 	達成	—	—	<p>【後期（3年間）総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> 移送サービスの予約方法を見直し、より多くの利用者が利用できるよう制度改正を行った <p>【今後の方向性】（第5次障がい者LSP踏まえ）</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存の移動に関わるサービスを継続的に実施し、必要に応じて効果検証を行っていく
<p>11 【重点】精神障がい者の日中活動場所整備の検討</p> <p>精神障がい者の社会的自立に向け、地域社会と交流が持てる場所や相談場所の整備について検討します。</p>	<p>（1）精神障がい者家族相談支援事業委託</p> <ul style="list-style-type: none"> 相談窓口 49日開設、延べ86人利用 居場所づくり 43日開設、延べ403人利用 <p>（2）地域活動支援センター</p> <ul style="list-style-type: none"> オープンスペース 2施設 延べ948人利用 <p>（3）精神障がい者地域支援協議会の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> 協議会 1回、部会 4回 	○	達成	○	<p>【後期（3年間）総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> 精神障がい者の社会的自立に向け、地域社会と交流を図る地域活動支援センターの継続的な実施や精神障がい者家族会運営による精神障がい者家族相談支援事業を立ち上げ、家族相談の実施や居場所の確保を行った。精神障がい者の日中活動場所の整備も含めた地域包括ケアシステムを総合的かつ効果的に推進するため、精神障がい者地域支援協議会を設置した <p>【今後の方向性】（第5次障がい者LSP踏まえ）</p> <ul style="list-style-type: none"> 精神障がい者やその家族を支援する関係機関との協議の場を通じて、精神障がい者の日中活動場所の整備も含めた必要な取組を検討し、本市における精神障がい者の地域包括ケアシステムの構築を目指す
<p>12 【重点】福祉事業所版BCP計画策定の支援</p> <p>災害発生後に、本来の業務である障がい者への福祉サービス支援の提供を早期に復旧させるための計画作りを支援します。</p>	<p><事業者向けBCP講座開催></p> <ul style="list-style-type: none"> 対象者：市内の居住系サービス及び日中系サービスの事業所職員 参加者：56法人（69事業所） 内容：研修動画視聴 <p>（1）大規模災害時における福祉サービス事業所事業継続計画（BCP）について</p> <p>（2）福祉事業所BCP 豊田市障がい福祉課版</p>	○	○	○	<p>【後期（3年間）総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業所のBCP策定に向けて、講座を実施した <p>【今後の方向性】（第5次障がい者LSP踏まえ）</p> <ul style="list-style-type: none"> BCP策定率上昇に向けて更なる支援策を構築する 豊田市の要配慮者への防災対策を総合的に進めていく

障がい者ライフサポートプラン2015重点事業（14事業）の後期総括について

◎：進んでいる ○：予定どおり ▲：遅れている

重点事業（上段：事業名／下段：事業内容）		令和2年度の実績	【進捗評価】			(1) 後期（H30～R2）総括 (2) 今後の方向性 など
			H30	R1	R2	
13	【重点】 成年後見制度の利用促進	・ 豊田市成年後見支援センターの運営を社会福祉協議会に委託し、相談援助等必要な支援を実施 相談支援件数 知的障がい 31件 精神障がい 25件	○	○	○	【後期（3年間）総括】 ・ 市（福祉総合相談課）と成年後見支援センターが中核機関の機能を果たし、成年後見制度に関する「広報啓発」「相談」「利用支援」「後見人支援」に取り組む体制が確保された 【今後の方向性】（第5次障がい者LSP踏まえ） ・ 引き続き中核機関としての機能を果たしながら、相談支援事業所や障がい福祉サービス事業所等の支援者、弁護士や司法書士、社会福祉士といった専門職等と連携しながら、成年後見制度利用促進計画に基づき制度の利用促進を図っていく
	判断能力の不十分な障がい者や高齢者の権利を擁護するため、成年後見制度の利用促進と適切な支援体制を構築します。	・ 成年後見制度の理解啓発のための出前講座を実施 令和元年度実績：13回 ・ 市民後見人養成講座を実施 修了者 19人				
14	【重点】 障がい者優先調達推進法に基づく物品等の購入	<調達実績> ・ 令和2年度調達実績 83件 ・ 令和2年度調達金額 93,496,277円	○	○	○	【後期（3年間）総括】 ・ 市職員の木製名札ケースの導入、ふるさと納税返礼品に地域材を活用した商品導入など庁内の調達において積極的に福祉施設等からの調達を行うとともに、共同受注窓口についても販売先の新規開拓を行うことで毎年販売実績を伸ばした 【今後の方向性】（第5次障がい者LSP踏まえ） ・ 障がい者福祉サービス事業所等において製造された菓子や雑貨等を市民に紹介・販売するとともに、新しい販路の開拓や業務の受注を行い、工賃向上を目指す
	共同受注窓口を運営する組織の立ち上げを視野に入れ、市役所を始めとする公共施設において、福祉施設で作られた物品の購入や清掃などの業務委託を計画的に増やします。	<新規調達案件等> ・ 豊田市の産業の中心であったガラ紡を使用したマスクの製造 ・ 置き菓子BOX「オフィスきらり」がグッドデザイン賞2020を受賞				

障がい者ライフサポートプラン2015（基礎事業）

連番	分野	基本的方向	事業名	事業概要	指標	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	前年度実績と比較して大きな変化があった場合のみその理由を記載してください。(目安：3割程度増減)	備考
1	1	①	障がい者作品展	障がい者の社会参加を促進するとともに、市民が障がい者に対して理解を深めるため、障がい者自らが制作した絵画や書道等の作品を公募し、障がい者作品展を開催します。	来場者数	1,409人	1,464人	2,060人	1,530人	1,426人	1,361人		
2	1	①	障がい者理解促進事業	世界自閉症デーや世界ダウン症の日などに合わせ、市民への啓発を実施します。	回数	2回	2回	4回	4回	4回	3回		
3	1	①	民間障がい者施設の地域情報発信・啓発支援事業	民間障がい者施設等運営費補助金を交付し、福祉サービス事業者が実施する地域への情報発信・啓発活動を支援します。	件数	1件	1件	2件	3件	0件	0件		
4	1	①	広報誌、ホームページ、テレビ、ラジオによる啓発	広報とよたを始めとする情報媒体を活用し、市民へ障がい者の暮らしを伝えたり、各種関連イベント情報等を発信したりしていきます。	件数	4件	6件	7件	6件	4回	3回		
5	1	①	精神保健福祉普及啓発講演会	地域住民等を対象に、精神障がいに関する知識の普及や理解を深めるため、講演会を実施し、認知症に対する理解を社会全体で高めるため、比較的関心の低い若年層等を対象に、とよた産業フェスタでの出展などを通じて啓発を行います。	参加者数	407人	416人	163人	207人	191人	-	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止したため。	
6	1	①	認知症に関する講演会	認知症に対する理解を社会全体で高めるため、比較的関心の低い若年層等を対象に、とよた産業フェスタでの出展などを通じて啓発を行います。	参加者数	323人	435人	1000人	3323人	1600人	383人	新型コロナウイルス感染症の流行により産業フェスタ等大規模なイベントが中止となったため。	9月の世界アルツハイマー月間に合わせ中央図書館及びとよしばにおいてパネル展示を実施した。
7	1	①	ヘルプマークの配布	ヘルプマークを配布することで、内部障がいや難病の方など、外見からは分かりにくい障がいのある方が、周囲に対して配慮や支援を必要としていることを知らせることで、援助を得やすい社会を目指します。	配布個数	-	-	-	2,579個	2,425個	1,609個	既に平成30年度と令和元年度にヘルプマークを必要とする方に一定数配布しているため、減少傾向となった。	
8	1	②	教育の場における障がい児との交流事業	①学校間交流 望ましい人間関係の育成、協調性の育成、障がい児に対する理解推進を目標に、小学校・中学校・高等学校と交流及び共同学習を実施します。 ②居住地交流 特別支援学校に通う児童・生徒から希望がある児童・生徒に講義や体験を通して障がいを理解してもらい、福祉の心を養う機会を作ります。	①実施校数 ②児童生徒数	①4校 ②47人	①4校 ②49人	①4校 ②45人	①4校 ②47人	①4校 ②18人	①2校 ②5人		
9	1	②	障がい者理解のための実践教室	企業が実施する障がい者支援活動やボランティア募集に協力します。	開催校数 開催回数	51校 103回	50校 110回	52校 96回	67校 144回	50校 126回	32校 57回	新型コロナウイルス感染症に伴い、例年6～12月に実施しているところを、10～2月に変更したため。	
10	1	③	企業の社会貢献事業の支援事業	障がい者の読書権を保障し、利用者に安定したサービスを提供するため、音訳資料等の製作協力者であるボランティアの養成及びスキルアップに向けた講座を実施します。	受講者延べ人数	①172人 ②18人 ③73人	①0人 ②19人 ③50人	①0人 ②0人 ③49人	①31人 ②8人 ③18人	①50人 ②17人 ③18人	①0人 ②0人 ③10人	①、②の実施を予定していなかったため。	
11	1	③	図書館ボランティア講座	地域移行・地域定着支援の推進のため、精神障がい者の社会的自立に向けた支援を行うほか、長期入院者に働きかけるピアサポーターを育成判断能力が十分ではなく、日常生活に不安を抱えている知的障がい者、精神障がい者等（いずれも契約を結ぶ能力が必要）を対象に、福祉サービスの利用援助・日常的金銭管理・預貯金通帳等の重要書類の預かりを行います。	育成人数 参加者延べ人数	-	11人 (養成)	93人 (フォローアップ)	56人 (フォローアップ)	32人 (フォローアップ)	21人 (フォローアップ)		
12	2	①	当事者相互によるピアサポート	判断能力はあるが日常生活に必要な各種手続き及び日常的な金銭管理等が困難かつ親族等の支援が期待できない身体障がい者、身体の不自由な高齢者、豊田市生活困窮者自立支援事業の支援決定者を対象に、日常的な金銭管理、預貯金通帳等の重要書類の預かりを行います。	利用者数 支援件数	94人 8,028件	91人 7,532件	95人 7,020件	99人 12,525件	88人 12,427件	74人 8510件	新型コロナウイルス感染症の拡大により、事業利用者の状況に合わせ支援頻度・回数を減らしたため、支援件数が減少した。	
13	2	②	日常生活自立支援	社会福祉法人等が行う、グループホームの建設費の一部を補助します。	利用者数	13人	18人	26人	32人	33人	27人		
14	2	②	生活支援員の派遣	グループホームの整備促進支援	補助件数	1件	0件	0件	0件	0件	0件		

連番	分野	基本的方向	事業名	事業概要	指標	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	前年度実績と比較して大きな変化があった場合のみその理由を記載してください。(目安：3割程度増減)	備考
16	2	②	自発的活動支援事業助成	障がい者等に対する交流会活動、災害対策活動、権利や自立のために社会へ働きかける活動、社会復帰活動など、障がい者等が自立した社会生活を営むための自発的な取組に対する費用の一部を補助します。	補助件数	—	—	—	3件	2件	—		
17	2	②	福祉車両による移送サービス	車いすを利用しているため、公共交通機関等の利用が困難な方の移動手段を確保するため、車いす用リフト付き車両による移送を実施し福祉サービス事業所における人員・設備・運営基準に適合していることを確認するほか、必要な改善を指導することでサービスの質の向上を図っていきます。	移送回数	1,464回	1,094回	1,174回	1,364回	1,366回	1,008回		
18	2	②	障がい福祉サービス事業所への指導	①福祉サービス事業所を集めて行う集団指導 ②実地による個別指導	実施回数 実施箇所数	1回 20か所	1回 11か所	1回 24か所	1回 40か所	①0回(中止) ②56か所	①0回(資料をホームページに掲載) ②61か所		
19	2	②	食の自立支援	安否確認と食の自立を目的として実施する配食サービス事業の対象を、高齢者だけでなく障がい者等にも拡大して実施します。	利用者数(障がい者)	—	—	33人	40人	36人	37人		
20	2	③	デイサービス型地域活動支援センター	NPO法人等による日中活動系事業への新規参入を促進するために、定員規模や職員配置要件を国の示す基準よりも緩和した市独自のデイサービス事業を実施します。	箇所数 利用契約者数	3か所 31人	3か所 30人	3か所 47人	4か所 96人	3か所 46人	2か所 36人		
21	2	③	民間障がい者施設の看護師配置支援	日中活動系事業における重度障がい者の受入れ促進を図るため、民間障がい者施設等運営費補助金を交付し、事業所に配置する看護師の人件費の一部を助成します。	件数	2件	4件	4件	4件	3件	4件		
22	2	③	中山間地域における活動支援センターⅢ型	地域活動支援センターにおいて生活訓練の場を提供する事で、障がい者の自立を支援します。事業所の人員配置体制を最低基準よりも手厚くするために必要な経費の一部を助成することで、重症心身障がい者等の保護者が、短期入所を利用しやすくします。	利用延べ人数	3,462人	2,958人	3,220人	2,679人	3,007人	2,592人		
23	2	④	重症心身障がい児・者短期入所利用支援	脳外傷等による高次脳機能障がい者とその家族を対象に、障がいに関する知識の普及や家族同士の情報交換の場として教室を開催します。	施設数 延べ日数	4施設 603日	5施設 430日	4施設 421日	3施設 535日	3施設 400日	3施設 138日	新型コロナウイルス感染症に伴う利用日控えであると思われる。	
24	2	④	高次脳機能障がいのある人の家族教室	アルコール問題でお困りの家族教室や交流会、ネットワーク構築のためのアルコール問題支援推進会議、啓発チラシの配布、消防との連携事業を実施します。	開催回数 延べ参加者数	8回 103人	7回 79人	5回 37人	5回 22人	4回 17人	2回 10人		
25	2	④	アルコール問題関連事業	難病患者やその家族同士が情報交換を図り、疾病に関する理解を深めるとともに、日常生活の工夫や運動療法を学び療養生活が送られるよう家族教室を開催します。	開催回数 延べ参加者数	8回 25人	8回 34人	8回 21人	5回 14人	5回 15人	3回 13人		
26	2	④	難病患者の家族教室	ホームヘルパー等の資格を有しているが、現在、就業していない潜在的人材の再活動支援等のため、知識・技術を習得、向上させる講座を精神障がい者を支援する事業者を対象に、精神疾患の理解と支援のポイント等を学び、支援の質の向上を図るための講座を実施します。	開催回数 延べ参加者数	4回 94人	パーキンソン病 4回 111人 脊髄小脳変性症 1回 12人	パーキンソン病 2回 45人 脊髄小脳変性症 2回 12人	パーキンソン病 2回 32人 脊髄小脳変性症 2回 12人	パーキンソン病 2回 33人 網膜色素変性症 2回 17人 ALS 2回 21人	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止したため。	
27	2	⑤	ヘルパーフォローアップ講座	福祉人材確保のため、市内の障がい福祉事業所・介護事業所の就職イベントを開催し、福祉人材のマッチングを行う場を提供します。	受講者数	15人	20人	9人	9人	0人	0人		
28	2	⑤	精神障がい者支援従事者研修	社会福祉法人等が行う、グループホームの建設費の一部を補助します。	受講者数	74人	46人	163人	207人	191人	21人	新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部中止したため。	
29	2	⑤	福祉就職フェアの開催	肢体の不自由な児童・生徒や来校者が安心して利用できる施設整備を進めるため、各学校にエレベーター、多目的トイレ、スロープの設置、段差の解消などを行います。	来場者数	60人	90人	181人	333人	510人	23人	新型コロナウイルスの影響により、開催方法を「会場でのイベント参加方式」から「事前申込者への動画配信方式」へと変更したことが理由だと考えられる。	
30	3	①	グループホームの整備促進支援(再掲)	肢体の不自由な児童・生徒や来校者が安心して利用できる施設整備を進めるため、各学校にエレベーター、多目的トイレ、スロープの設置、段差の解消などを行います。	補助件数	1件	0件	0件	0件	0件	0件		
31	3	②	小中学校のバリアフリー化	肢体の不自由な児童・生徒や来校者が安心して利用できる施設整備を進めるため、各学校にエレベーター、多目的トイレ、スロープの設置、段差の解消などを行います。	整備実施校数	1校	1校	3校	0校	1校	1校		実績の1校以外に多目的トイレのみ整備済学校あり。

連番	分野	基本的方向	事業名	事業概要	指標	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	前年度実績と比較して大きな変化があった場合のみその理由を記載してください。(目安：3割程度増減)	備考
32	3	②	愛知県人にやさしい街づくりの推進に関する条例に沿った整備指導	誰もが利用しやすい建築物の整備を図るため、「愛知県人にやさしい街づくりの推進に関する条例」に基づく民間建築物整備の指導を実施し豊田市ホームページにおいて、市内の公共施設を始め、医療機関や金融機関等のバリアフリー情報を発信します。	届出件数	151件	144件	155件	116件	110件	92件		
33	3	②	とよた福祉ガイドブックによるバリアフリーの情報発信	車いすを利用しているため、公共交通機関等の利用が困難な方の移動手段を確保するため、車いす用リフト付き車両による移送を実施し避難行動要支援者（災害が発生し、又は災害が発生する恐れがある場合に自ら避難することが困難な者であって、その円滑かつ迅速な避難の確保を図るため特に支援を要する者）の名簿を市が作成し、保管します。また、名簿に記載された方のうち、避難支援等関係者への情報提供に同意をいただいた方の一覧を作成し、平常時から避難支援等関係者へ渡し、災害発生時の地域における支援体制の強化を図ります。注意喚起及び防犯意識を高めるため、市内又は近隣で発生した市民に身近な犯罪や不審者情報について、その発生した日時、場所、内容等を、障がい者などの犯罪弱者を含めた市民（登録者）に対しメールで情報提供します。	新規調査数	144か所	120か所	115か所	77か所				
34	3	②	福祉車両による移送サービス（再掲）	車いすを利用しているため、公共交通機関等の利用が困難な方の移動手段を確保するため、車いす用リフト付き車両による移送を実施し避難行動要支援者（災害が発生し、又は災害が発生する恐れがある場合に自ら避難することが困難な者であって、その円滑かつ迅速な避難の確保を図るため特に支援を要する者）の名簿を市が作成し、保管します。また、名簿に記載された方のうち、避難支援等関係者への情報提供に同意をいただいた方の一覧を作成し、平常時から避難支援等関係者へ渡し、災害発生時の地域における支援体制の強化を図ります。注意喚起及び防犯意識を高めるため、市内又は近隣で発生した市民に身近な犯罪や不審者情報について、その発生した日時、場所、内容等を、障がい者などの犯罪弱者を含めた市民（登録者）に対しメールで情報提供します。	移送件数	1,464回	1,094回	1,174回	1,364回	1,366回	1,008回		
35	3	③	避難行動要支援者名簿の整備	車いすを利用しているため、公共交通機関等の利用が困難な方の移動手段を確保するため、車いす用リフト付き車両による移送を実施し避難行動要支援者（災害が発生し、又は災害が発生する恐れがある場合に自ら避難することが困難な者であって、その円滑かつ迅速な避難の確保を図るため特に支援を要する者）の名簿を市が作成し、保管します。また、名簿に記載された方のうち、避難支援等関係者への情報提供に同意をいただいた方の一覧を作成し、平常時から避難支援等関係者へ渡し、災害発生時の地域における支援体制の強化を図ります。注意喚起及び防犯意識を高めるため、市内又は近隣で発生した市民に身近な犯罪や不審者情報について、その発生した日時、場所、内容等を、障がい者などの犯罪弱者を含めた市民（登録者）に対しメールで情報提供します。	登録者数	対象者7,198人 同意者5,792人	対象者7,490人 同意者6,148人	対象者7,670人 同意者6,243人	対象者7,829人 同意者6,282人	対象者8,046人 同意者6,374人	対象者8,131人 同意者6,416人		
36	3	④	犯罪情報提供ネットワーク登録制度	犯罪情報提供ネットワーク登録制度について、その発生した日時、場所、内容等を、障がい者などの犯罪弱者を含めた市民（登録者）に対しメールで情報提供します。	登録件数	24,794件	29,580件	31,292件	34,287件	33,865件	35,878件		
37	3	④	成年後見制度利用支援	知的障がい者や精神障がい者で判断能力が不十分なため、成年後見制度の利用が有用であると認める場合、身寄りのない障がい者や制度利用のための費用を支払うことが困難な障がい者に対して、支援を実施します。 ①市長申立てによる後見開始審判請求支援 ②申立費用・後見人報酬等費用の助成	支援件数	①1件 ②0件	①0件 ②3件	①1件 ②3件	①4件 ②13件	①11件 ②10件	①1件 ②17件	①成年後見支援センターへの相談は例年並みにあったが、そのうち市長申立が必要な案件（親族による申立てができない案件）が少なかったため。 ②専門職（弁護士、司法書士、社会福祉士）に向けて、制度の再周知（要綱の送付）を実施したため。	
38	4	①	特別支援教育連携協議会の開催	医療・福祉・労働・療育・教育等に関わる関係機関が連携し、支援情報の共有化や支援策の協議とともに、豊田市における特別支援教育の在り方を検討します。	開催回数	2回	2回	2回	2回	2回	2回		
39	4	①	母子保健医療福祉ネットワーク会議の開催	妊娠・出産から育児のスタート時期において、子育てに不安のある親や、体調に不安のある母親及び子どもに対して、医療・保健・福祉等の関係機関が連携し、早期から関わることで、病院から家庭・地域における切れ目のない子育て障がいの早期発見・早期療育を進めるため、関係機関が課題事項及び地域療育支援の在り方について協議と必要な支援を行い、保育・教育を実施する機関職員及び保護者の療育意識を高め、障がいの軽減と二次障がい発生の防止を図るため、支援を要する児童に対し、積極的に受入態勢を推進し、必要に応じて加配支援員を配置し現場に専門家が巡回し、支援員に助言する体制を整えることで、障がい理解の促進を図り、支援員の力量を高めていきます。	開催回数	1回	1回	2回	1回	1回	1回		
40	4	①	早期療育推進委員会の開催	関係機関が課題事項及び地域療育支援の在り方について協議と必要な支援を行い、保育・教育を実施する機関職員及び保護者の療育意識を高め、障がいの軽減と二次障がい発生の防止を図るため、支援を要する児童に対し、積極的に受入態勢を推進し、必要に応じて加配支援員を配置し現場に専門家が巡回し、支援員に助言する体制を整えることで、障がい理解の促進を図り、支援員の力量を高めていきます。	開催回数（定例会）	3回	3回	3回	3回	3回	2回	新型コロナウイルス感染予防対策のため1回は書面開催にしたため。	
41	4	②	放課後児童クラブにおける加配支援員配置	支援を要する児童に対し、積極的に受入態勢を推進し、必要に応じて加配支援員を配置し現場に専門家が巡回し、支援員に助言する体制を整えることで、障がい理解の促進を図り、支援員の力量を高めていきます。	配置数	109人	105人	91人	82人	100人	111人		
42	4	②	放課後児童クラブへの巡回専門員による訪問指導	支援を要する児童に対し、積極的に受入態勢を推進し、必要に応じて加配支援員を配置し現場に専門家が巡回し、支援員に助言する体制を整えることで、障がい理解の促進を図り、支援員の力量を高めていきます。	専門員数	1人(123回)	1人(42回)	1人(43回)	1人(54回)	1人(136回)	1人(138回)		

連番	分野	基本的方向	事業名	事業概要	指標	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	前年度実績と比較して大きな変化があった場合のみその理由を記載してください。(目安：3割程度増減)	備考
43	4	②	こども発達センターによる障がい児通所支援	こども発達センターにおいて、日常生活における基礎的動作の指導や自活に必要な知識や技能、集団生活への適応のための支援を行います。 ①ひまわり（知的障がい児、発達障がい児クラス） ②たんぼぼ（肢体不自由児クラス） ③なのはな（難聴児、発達障がい児クラス）	利用契約児数 利用延人数	①50人 ②40人 ③38人 難聴18人 発達20人 ①9,393人 ②4,393人 ③4,245人 難聴808人 発達3,437人	①50人 ②40人 ③41人 難聴19人 発達22人 ①9,175人 ②4,076人 ③4,550人 難聴859人 発達3,691人	①50人 ②36人 ③43人 難聴23人 発達20人 ①8,996人 ②3,584人 ③4,198人 難聴909人 発達3,289人	①50人 ②40人 ③37人 難聴17人 発達20人 ①9,319人 ②3,426人 ③3,938人 難聴844人 発達3,094人	①50人 ②38人(転居児含む) ③36人 難聴16人 発達20人 ①9,058人 ②3,746人 ③3,680人 難聴753人 発達2,927人	①50人 ②40人(転居・死亡含む) ③37人 難聴17人 発達20人 ①9,127人 ②3,578人 ③3,680人 難聴708人 発達2,804人		
44	4	②	保育所等訪問支援	こども園等を訪問し、障がい児に対して、障がい児以外の児童との集団生活への適応のための支援を行います。 ①ひまわり（知的障がい児、発達障がい児クラス） ②たんぼぼ（肢体不自由児クラス） ③なのはな（難聴児、発達障がい児クラス）	利用児数 支援件数	①0人 ②0人 ③7人 難聴7人 発達0人 ①0件 ②0件 ③15件 難聴15件 発達0件	①1人 ②1人 ③30人 難聴9人 発達0人 ①6件 ②2件 ③9件 難聴9件 発達0件	①1人 ②2人 ③12人 難聴12人 発達0人 ①6件 ②6件 ③11件 難聴11件 発達0件	①1人 ②7人 ③14人 難聴14人 発達0人 ①5件 ②24件 ③30件 難聴30件 発達0件	①1人 ②1人 ③11人 難聴11人 発達0人 ①2件 ②4件 ③48件 難聴48件 発達0件	①0人 ②7人 ③14人 難聴14人 発達0人 ①0件 ②32件 ③48件 難聴63件 発達0件		
45	4	②	在宅支援外来療育等指導	言葉の発達が遅い、かんしゃくが強い、友達と遊べないなどの未就園の子どもとその親が、遊びを通じて親子の絆を深め、生活習慣や社会性を身に付けることを目的としたグループ活動を心理士や保育師などの専門職が、発達に心配のある子どもがいる家庭を訪問し、親からの相談に応じるとともに、必要な助言等を行います。保育師や心理士などの専門職で構成された相談チームが、こども園や学校を巡回訪問し、各園児、児童・生徒に応じた相談や支援を実施します。	登録者数 利用延人数	802名 23,743名	918名 26,418名	852名 25,844名	752名 20,719名	682名 15,492名	636名 12,456名		
46	4	②	在宅支援訪問療育等指導	言葉の発達が遅い、かんしゃくが強い、友達と遊べないなどの未就園の子どもとその親が、遊びを通じて親子の絆を深め、生活習慣や社会性を身に付けることを目的としたグループ活動を心理士や保育師などの専門職が、発達に心配のある子どもがいる家庭を訪問し、親からの相談に応じるとともに、必要な助言等を行います。保育師や心理士などの専門職で構成された相談チームが、こども園や学校を巡回訪問し、各園児、児童・生徒に応じた相談や支援を実施します。	実施件数	80回	207回	91回	303回	223回	376回		
47	4	②	施設支援一般指導（巡回療育相談）	言葉の発達が遅い、かんしゃくが強い、友達と遊べないなどの未就園の子どもとその親が、遊びを通じて親子の絆を深め、生活習慣や社会性を身に付けることを目的としたグループ活動を心理士や保育師などの専門職が、発達に心配のある子どもがいる家庭を訪問し、親からの相談に応じるとともに、必要な助言等を行います。保育師や心理士などの専門職で構成された相談チームが、こども園や学校を巡回訪問し、各園児、児童・生徒に応じた相談や支援を実施します。	実施件数	330回	339回	436回	538回	521回	222回	新型コロナウイルス感染対策防止のため、5月から7月に実施する前期巡回療育相談は中止したため。	
48	4	②	保育者研修	言葉の発達が遅い、かんしゃくが強い、友達と遊べないなどの未就園の子どもとその親が、遊びを通じて親子の絆を深め、生活習慣や社会性を身に付けることを目的としたグループ活動を心理士や保育師などの専門職が、発達に心配のある子どもがいる家庭を訪問し、親からの相談に応じるとともに、必要な助言等を行います。保育師や心理士などの専門職で構成された相談チームが、こども園や学校を巡回訪問し、各園児、児童・生徒に応じた相談や支援を実施します。	開催園数 受講者	7園 103名	6園 111名	6園 113名	6園 130名	6園 119名	6園 94名		
49	4	②	こども園、私立幼稚園における加配保育師の配置	言葉の発達が遅い、かんしゃくが強い、友達と遊べないなどの未就園の子どもとその親が、遊びを通じて親子の絆を深め、生活習慣や社会性を身に付けることを目的としたグループ活動を心理士や保育師などの専門職が、発達に心配のある子どもがいる家庭を訪問し、親からの相談に応じるとともに、必要な助言等を行います。保育師や心理士などの専門職で構成された相談チームが、こども園や学校を巡回訪問し、各園児、児童・生徒に応じた相談や支援を実施します。	配置数	156名	163名	216名	239名	277名	242名		
50	4	③	教育の場における障がい児との交流事業（再掲）	言葉の発達が遅い、かんしゃくが強い、友達と遊べないなどの未就園の子どもとその親が、遊びを通じて親子の絆を深め、生活習慣や社会性を身に付けることを目的としたグループ活動を心理士や保育師などの専門職が、発達に心配のある子どもがいる家庭を訪問し、親からの相談に応じるとともに、必要な助言等を行います。保育師や心理士などの専門職で構成された相談チームが、こども園や学校を巡回訪問し、各園児、児童・生徒に応じた相談や支援を実施します。	①実施校数 ②児童生徒数	①4校 ②47人	①4校 ②49人	①4校 ②45人	①4校 ②47人	①4校 ②18人	①2校 ②5人		
51	4	③	特別支援学級教員研修	言葉の発達が遅い、かんしゃくが強い、友達と遊べないなどの未就園の子どもとその親が、遊びを通じて親子の絆を深め、生活習慣や社会性を身に付けることを目的としたグループ活動を心理士や保育師などの専門職が、発達に心配のある子どもがいる家庭を訪問し、親からの相談に応じるとともに、必要な助言等を行います。保育師や心理士などの専門職で構成された相談チームが、こども園や学校を巡回訪問し、各園児、児童・生徒に応じた相談や支援を実施します。	受講者	①87人 ②54人	①88人 ②55人	①87人 ②72人	①158人 ②70人	①254人 ②61人	①279人 ②63人		

連番	分野	基本的方向	事業名	事業概要	指標	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	前年度実績と比較して大きな変化があった場合のみその理由を記載してください。(目安：3割程度増減)	備考
52	4	③	特別支援教育コーディネーター研修会	障がい児童・生徒の教育の充実に向けて、コーディネーターとしての役割や障がい特性の理解の仕方などを学ぶため、こども発達センターの医師や臨床心理士から話を聞き、特別支援教育の充実に向けての力量を向上させます。	受講者	103人	104人	104人	104人	①157人 ②23人	104人		
53	4	③	スクールソーシャルワーカー・指導主事による学校支援	特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対して適切な対応を進めることができるように、スクールソーシャルワーカーと特別支援教育担当主事が学校に訪問し、担任や特別支援教育コーディネーター等への支援を実施し、校内支援体制の構築を図ります。	支援校数	16校	14校	47校	70校	80校	76校		
54	4	③	学級運営補助指導員・教育介護ボランティアの配置	①学級運営補助指導員の配置 通常学級及び特別支援学級における障がいのある児童・生徒と学級運営に対して支援を行う学級運営補助指導員を配置します。 ②教育介護ボランティアの配置 学校行事や校外学習において、障がいのある児童・生徒を介護するボランティアを派遣するほか、学習活動の充実を図るため、教育介護ボランティアを配置します。	配置数	①177人 ②33人	①136人 ②34人	①142人 ②30人	①151人 ②29人	①157人 ②23人	①160人 ②16人		
55	4	③	特別支援学校における看護職員の配置	豊田特別支援学校に看護師を配置し、医療的ケアを必要とする児童・生徒に対し、支援を実施	配置数	8人	9人	10人	10人	12人	16人		
56	4	③	就学相談会の実施	障がいのある子ども一人ひとりに応じた就学支援を進めるため、就学前の障がいのある子どもと保護者を対象とした就学相談会を実施し、肢体の不自由な児童・生徒や来校者が安心して利用できる施設整備を進めるため、各学校にエレベーター、多目的トイレ、スロープの設置、段差の解消などを行います。	開催回数 相談者数	2回 155人	2回 155人	2回 169人	2回 213人	2回 221人	2回 259人		
57	4	③	小中学校のバリアフリー化（再掲）	小学校、中学校へ通う医療的ケアが必要な児童・生徒の学校生活を支援するため、看護師を派遣します。	整備実施校数	1校	1校	3校	1校	1校	1校		実績の1校以外に多目的トイレのみ整備済学校あり。
58	4	③	小中学校における看護師の派遣	福祉施設での就労訓練を経て企業等へ一般就労した障がい者が、職場へ安心して通い続けられるよう、福祉サービス事業所が実施する定着支援の費用の一部について、職場定着支援活動を行った際、1年間継続雇用された際、2年間継続雇用された際ごとに助成します。	派遣回数	—	—	—	3校 3人	3校 3人	4校 4人		
59	5	①	職場定着支援事業助成	障がい者からの就労に関する相談を始め、職場開拓や障がい者を取り巻く環境改善、企業等における雇用促進に向けた啓発事業などを通じ、障がい者の就労支援を実施します。	就労件数 1年定着件数 2年定着件数	9件 10件 10件	13件 11件 8件	定着補助339件 23件 10件	定着補助319件 33件 14件				
60	5	①	障がい者就労・生活支援センターによる就労支援	障がい者が雇用している企業等からの相談に応じ、職場定着を図るためにジョブコーチを派遣	相談件数 就労者数	4,068件 50人	2,647件 54人	3,330件 69人	3,160件 60人	3,915件 59人	4,131件 71人		
61	5	②	障がい者就労・生活支援センターによる企業等へのジョブコーチ派遣	障がい者が雇用している企業等からの相談に応じ、職場定着を図るためにジョブコーチを派遣	支援回数	720回	553回	718回	630回	534回	532回		
62	5	②	障がい者就労・生活支援センターの職場開拓員による企業訪問	市内の福祉施設で、どのような雑貨や食品等が作られているのかを市民に紹介するとともに、各施設の商品を取り揃える販売窓口として設置した『アンテナショップきらり』を通じて、売上向上を図っていきます。	訪問件数	388件	587件	473件	527件	389件	401件		
63	5	③	共同受注及びアンテナショップ運営	障がい者が公共施設等における職場体験を行うことで、就労意欲を向上させるほか、職場体験事業を通じて、受入先の障がい理解を促進しま	売上額	8,328,953円	9,629,231円	11,108,570円	12,567,535円	17,522,875円	17,537,660円		
64	5	③	公共施設における職場体験事業		体験者数	32人	36人	22人	16人	18人	22人		

連番	分野	基本的方向	事業名	事業概要	指標	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	前年度実績と比較して大きな変化があった場合のみその理由を記載してください。(目安：3割程度増減)	備考
65	6	①	生活習慣病予防対策（健康づくり豊田21関連事業）	生活習慣病予防対策として市民向け教室を開催し、知識等の普及啓発を図ります。 ①生活習慣病予防教室 ②受動喫煙防止対策実施認定事業	①延べ受講者 ②認定数	①458人 ②4施設	①578人 ②0施設	①524人 ②1施設	①417人 ②0施設	①542人 ②2施設	①101人 ② -	①新型コロナウイルス感染症のまん延により、教室回数・参加人数を減らしたため。	②受動喫煙防止対策実施認定事業について健康増進法の一部改正により令和2年4月から原則屋内禁煙となったため、令和2年3月をもって認定事業は終了した。
66	6	①	薬物乱用防止運動（街頭活動、講習会）	薬物について、正しい知識を普及させるため、啓発活動を実施します。 ①街頭活動 ②薬物乱用防止講習会	①開催回数 ②開催回数 ③参加者数	①2回 ②30回 ③3,402人	①2回 ②24回 ③2,631人	①2回 ②26回 ③2,466人	①2回 ②21回 ③3,415人	①2回 ②24回 ③2,897人	①0回 ②7回 ③259人	新型コロナウイルス感染症の増加により、街頭活動及び講習会・勉強会が中止になったため。	

連番	分野	基本的方向	事業名	事業概要	指標	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	前年度実績と比較して大きな変化があった場合のみその理由を記載してください。(目安：3割程度増減)	備考
67	6	②	乳幼児健康診査	親の子育て力を高める親教育の充実や親同士の交流を図るとともに、相談しやすい雰囲気づくりに努め、ゆとりある健康診査の実施と併せて、発育・発達を促す指導や育児負担感を軽減するための個別相談を実施します。 ①3、4か月児 ②1歳6か月児 ③3歳児 健康診査の受診結果等により、発達状況により	受診者数 受診率	①3,971人 ②3,772人 ③3,804人 ①96.9% ②96.6% ③95.2%	①3,784人 ②3,910人 ③3,785人 ①97.0% ②96.4% ③96.4%	①3,655人 ②3,724人 ③3,735人 ①96.1% ②96.6% ③96.8%	①3,612人 ②3,618人 ③3,792人 ①97.5% ②96.6% ③96.9%	①3,009人 ②3,213人 ③3,237人 ①95.7% ②96.2% ③94.6%	①3,314人 ②3,455人 ③2,325人 ①93.6% ②94.7% ③97.4%	新型コロナウイルス感染症の影響で実施回数、時期等を変更したため。	
68	6	②	にこにこ広場、おやこ教室、こども相談の開催	支援の必要な子どもや育児不安・負担感があると思われる養育者に対し支援を実施します。 ①にこにこ広場（3、4か月児健康診査事後フォロー教室） ②おやこ教室（1歳6か月児健康診査事後フォロー教室） ③子ども相談（心理士との個別発達相談）	延べ参加組数	①131組 ②393組 ③18組	①160組 ②471組 ③20組	①188組 ②482組 ③27組	①187組 ②462組 ③24組	①175組 ②424組 ③26組	①87組 ②事業廃止 ③14組	①新型コロナウイルス感染症の影響で4月～7月中止したため。 ②おやこ教室事業を廃止したため。	
69	6	②	高次脳機能障がいのある人の家族教室（再掲）	脳外傷等による高次脳機能障がい者とその家族を対象に、障がいに関する知識の普及や家族同士の情報交換の場として教室を開催します。	開催回数 延べ参加者数	8回 103人	7回 79人	5回 37人	5回 22人	4回 17人	2回 10人		
70	6	②	アルコール問題関連事業（再掲）	アルコール問題でお困りの家族教室や交流会、ネットワーク構築のためのアルコール問題支援推進会議、啓発チラシの配布、消防との連携事業を実施します。	開催回数 延べ参加者数	8回 25人	8回 34人	8回 21人	5回 14人	5回 15人	3回 13人		
71	6	②	難病患者の家族教室（再掲）	難病患者やその家族同士が情報交換を図り、疾病に関する理解を深めるとともに、日常生活の工夫や運動療法を学び療養生活が送られるよう家族教室を開催します。	開催回数 延べ参加者数	4回 94人	パーキンソン病 4回 111人 脊髄小脳変性症 1回 12人	パーキンソン病 2回 45人 脊髄小脳変性症 2回 12人	パーキンソン病 2回 32人 脊髄小脳変性症 2回 12人	パーキンソン病 2回 33人 網膜色素変性症 2回 17人 ALS 2回 21人	-	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止したため。	
72	6	②	精神保健福祉相談	心の悩みを抱える人やその家族からの相談に応じ、助言やアドバイスを行い、相談者の抱える問題の整理につなげる支援を実施します。 ①精神科医師による相談 ②保健師、精神保健福祉士による相談	延べ相談者数	①44人 ②1,078人	①43人 ②1,784人	①42人 ②2,208人	①67人 ②2,995人	①47人 ②1,937人	①34人 ②2,156人		
73	6	②	心理職員によるこころの相談	ひきこもり等の悩みを抱えている人や家族からの相談に応じ、相談者の抱える問題の整理につなげる支援を実施します。	延べ相談者数	8人	7人	8人	7人	6人	9人		
74	6	②	難病講演会	難病に関する正しい理解と、その対応及び療養生活上の保健指導や治療に関する情報提供を行うため、専門医による講演会を実施します。	開催回数 延べ参加者数	4回 322人	4回 140人	4回 290人	3回 339人	4回 199人	-	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止したため。	
75	6	②	難病患者地域ケアの推進	難病患者の家庭を保健師が訪問し、患者や家族からの相談に応じるとともに、療養生活上の保健指導等を実施します。	延べ訪問人数	75人	35人	115人	52人	57人	77人	組織改編により担当課が保健支援課になったことで相談につながりやすくなったため。	訪問、面接、電話相談の合計
76	6	②	早期療育推進委員会の開催（再掲）	障がいの早期発見・早期療育を進めるため、関係機関が課題事項及び地域療育支援の在り方について協議と必要な支援を行い、保育・教育を実施する機関職員及び保護者の療育意識を高め、障がいの軽減と二次障がい発生の防止を図る言葉の発達が遅い、かんしゃくが強い、友達と遊べないなどの未就園の子どもとその親が、遊びを通じて親子の絆を深め、生活習慣や社会性を身に付けることを目的としたグループ活動を	開催回数	3回	3回	3回	3回	3回	2回	新型コロナウイルス感染予防対策のため1回は書面開催としたため。	
77	6	②	在宅支援外来療育等指導（再掲）		登録者数 利用延人数	802名 23,743名	918名 26,418名	852名 25,844名	742名 20,719名	682名 15,492名	636名 12,456名		

連番	分野	基本的方向	事業名	事業概要	指標	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	前年度実績と比較して大きな変化があった場合のみその理由を記載してください。(目安：3割程度増減)	備考
78	6	②	在宅支援訪問療育等指導（再掲）	心理士や保育師などの専門職が、発達に心配のある子どものいる家庭を訪問し、親からの相談に応じるとともに、必要な助言等を行います。	実施件数	80回	207回	91回	303回	223回	376回		
79	6	②	保健師療育実習	心身障がい児の早期発見・早期療育の推進、各種健康診査や教室、家庭訪問、相談業務に携わる職員の資質向上を図るため、こども発達センターと連携し実習を実施します。	開催回数 参加者数	5回 39名	4回 17名	4回 33名	4回 30名	4回 30名	0回 0名	新型コロナウイルス感染症の影響で中止したため。	
80	6	②	施設支援一般指導（巡回療育相談）（再掲）	保育師や心理士などの専門職で構成された相談チームが、こども園や学校を巡回訪問し、各園児、児童・生徒に応じた相談や支援を実施し、身体障がい者1～3級、腎臓機能障がい者4級、進行性筋萎縮症者4～6級、療育手帳A・B判定（IQ50以下の人）、自閉症状群と診断された人に対し、医療保険による自己負担額を助	実施件数	330回	339回	436回	538回	521回	222回	コロナ感染対策防止のため、5月から7月に実施する前期巡回療育相談は中止したため。	
81	6	③	心身障がい者医療助成	①精神障がい者保健福祉手帳1級又は2級の人に対し、医療保険による自己負担額を助成します。	受給者数 (月平均)	4,257人	4,305人	4,603人	4,812人	4,892人	4,908人		
82	6	③	精神障がい者医療助成	②精神保健指定医により精神病と診断された入院中の人に対し、医療保険による自己負担額の半額を助成します。また、①以外の自立支援医療（精神通院）受給者に対し、自立支援医療の	受給者数 (月平均)	1,471人	4,507人	4,991人	5,503人	5,900人	6,155人		
83	6	③	こども発達センターのぞみ診療所による医療サービスの提供	こども発達センターや地域の施設と協力しながら、発達に心配のある子どもたちの医療的な支援を実施します。	初診件数 再診件数	571件 3,405件	525件 3,480件	511件 2,842件	652件 2,833件	581件 2,868件	642件 2,894件		
84	6	③	歯科口腔関係従事者による訪問予防指導	障がい者の通所施設へ歯科口腔関係従事者が訪問し、施設職員に対し、歯科口腔衛生に関する助言・指導を実施することにより、施設利用者の虫歯や歯周病等の予防を図ります。	実施施設数 受講者数	—	3施設 77人	6施設 135人	10施設 141人	2施設 17人	0施設 0人 ※実施なし	新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、令和2年度は事業を中止したため。	
85	7	①	手話通訳・要約筆記派遣	聴覚障がい者が必要な情報を収集したり、意思疎通したりするための支援として、学校の入学式等の公的行事や医療機関へ受診する際に手話通訳者や要約筆記者を派遣します。	派遣件数	817件	824件	762件	681件	752件	579件		
86	7	①	手話講習会	手話奉仕員を養成するため、市民向け手話講習会を実施します。	延べ受講者数	61人	65件	70人	45人	42人	24人	新型コロナウイルスの影響によりが減少したと思われる。	
87	7	①	図書館ボランティア講座（再掲）	障がい者の読書権を保障し、利用者に安定したサービスを提供するため、音訳資料等の製作協力者であるボランティアの養成及びスキルアップに向けた講座を実施します。	受講延べ人数	①172人 ②18人 ③73人	①0人 ②19人 ③50人	①0人 ②0人 ③49人	①31人 ②8人 ③18人	①50人 ②17人 ③18人	①0人 ②0人 ③10人	①、②の実施を予定していなかったため。	
88	7	②	緊急通報時の手話通訳派遣	消防本部へのメール・FAXによる119番通報の際、必要に応じて手話通訳者を搬送先の病院へ派遣します。	派遣件数	—	—	2件	1件	1件	1件		
89	7	③	障がい理解促進のための市職員研修	行政職員の障がいに対する理解を促進することで、行政サービスの向上を図ります。	実施回数	0回	83回	72回	3回	2回	5回		
90	7	④	成年後見制度利用支援（再掲）	知的障がい者や精神障がい者で判断能力が不十分のため、成年後見制度の利用が有用であると認める場合、身寄りのない障がい者や制度利用のための費用を支払うことが困難な障がい者に対して、支援を実施します。	支援件数	①1件 ②0件	①0件 ②3件	①1件 ②3件	①4件 ②11件	①11件 ②10件	①1件 ②17件	①成年後見支援センターへの相談は例年並みにあったが、そのうち市長申立が必要な案件（親族による申立てができない案件）が少なかったため。 ②専門職（弁護士、司法書士、社会福祉士）に向けて、制度の再周知（要綱の送付）を実施したため。	
91	7	④	日常生活自立支援（再掲）	①市長申立てによる後見開始審判請求支援 ②申立費用・後見人報酬等費用の助成 判断能力が十分ではなく、日常生活に不安を抱えている知的障がい者、精神障がい者等（いずれも契約を結ぶ能力が必要）を対象に、福祉サービスの利用援助・日常的金銭管理・預貯金通帳等の重要書類の預かりを行います。	利用者数 支援件数	94人 8,028件	91人 7,532件	95人 7,020件	99人 12,525件	88人 12,427件	74人 8510件	新型コロナウイルス感染症の拡大により、事業利用者の状況に合わせ支援頻度・回数を減らしたため、支援件数が減少したため。	